

第61回名古屋をどり鑑賞会

名古屋の秋の風物詩「第61回名古屋をどり」が、9月6日から9月15日中日劇場で行われた。

今年の名古屋をどりは、昨年とは一味違う、芝居のような舞踊劇、江戸情緒あふれる風俗舞踊、格式ある能形式、レビューのような郡舞で構成され、昼の部は祭りの踊り合戦を題材にしたロマンチックコメディー



【良寛さんのかくれんぼ】

「鯨に帆かけて」。また夜の部は邦楽ミュージカル「良寛さんのかくれんぼ」であり、本会の会長であり、三世家元の西川右近氏が主演・演出・作舞、また元宝塚歌劇団娘役トップスター南風舞さんが客演し、一層の華を添えた。バラエティ豊かに繰り広げられる多彩な演目に、日頃の忙しさや疲れも、つい忘れひとときの憩いの時間をすごされていた。

日本グランプリ観戦ツアーのお知らせ



【好評】 F1 日本グランプリ観戦ツアー 50名参加！！

日本人唯一のF1正ドライバー中嶋一貴さん（星城高等学校第38回生）応援ツアー
現在、世界最高峰の自動車レース F1（フォーミュラー・ワン）で、ウィリアムズ・トヨタから正ドライバーとして起用され大活躍中。星城懇話会では、伝統のモナコ GP で日本人初の入賞を果たし、ますます躍進を続ける中嶋選手を間近で応援するためツアーを催し、50名もの参加者とともに10月12日（日）富士スピードウェイへ出かけ、臨場感あふれるサーキットを体感しながら、熱き声援を送りたいと思います。ツアー報告は、次号にて。お楽しみにして下さい。

中嶋一貴さん（1999年よりカートデビュー、各カテゴリー参戦、現在F1で活躍）

行程表

名古屋駅ミッドランドスクエア前→名古屋高速→刈谷ハイウェイオアシス観覧車→駒門PA
→御殿場 IC→富士スピードウェイ→決勝観戦→富士スピードウェイ→御殿場 IC→
富士川 SA→刈谷ハイウェイオアシス→名古屋高速→名古屋駅

星城懇話会事務局便り

事務局では、多彩な催物を検討中です。観てみたい、聞いてみたい、体験してみたい、催物があれば事務局へご連絡ください。会員の皆様のご意見をお待ちしております。

TEL:052-601-6095 担当:青井・河野

星城懇話会

2008.10

第8号

発行：星城懇話会事務局
〒476-8588
東海市富貴ノ台2-172
星城大学内
(名古屋石田学園法人本部内)
TEL052-601-6095
FAX052-689-6003
✉kikakushitsu@seijoh-u.ac.jp

CONTENTS

- 》北京五輪金メダル報告
 - 》北京五輪応援ツアー
 - 》専門学校開校5周年記念
 - 》介護予防教室
 - 》名古屋をどり
 - 》日本グランプリ観戦予告
- 北京オリンピック金メダル報告



Beijing2008

【現地にて星城卒業生を応援】



日本ソフトボールチーム悲願の金メダルを獲得。その中でも3ホームランを打ち大活躍した本学園星城高等学校第35回生馬淵智子さんが、北京オリンピックでの優勝報告を、石田理事長、星城懇話会西川右近会長に9月25日、東急ホテルで行った。「4年間、この金メダル獲得だけに頑張ってきたので本当にうれしい」また「わざわざ北京まで応援に駆けつけて頂いた星城高等学校関係者の皆さんやたくさんの方々に深く感謝するとともに温かい応援が、苦しい一戦一戦の大きな励みとなった」とお礼の挨拶があった。

オリンピックを振り返り、「3本のホームランの中でもオーストラリア戦の一発は手ごたえを感じました。最後に今後とも多くの方々にソフトボールの魅力や楽しさを伝え、国内リーグにも足を運んでいただき本当の面白さを知ってもらいたい」と力強く語った。



星城中学校 3年 A組 濱淵菜邑

世界で活躍する星城の先輩を一目見たくて、また急激な成長を続ける中国を肌で感じたくてツアー中は夢中でした。加藤選手の応援のために会場へ入ると、様々な国の人たちが応援に来ていました。同じ国の選手が登場すると、ものすごい歓声を上げて応援するその人たちをみて、私の応援する加藤選手は、同じ国というだけでなく、同じ学校の先輩と後輩なんだ。とふと思いました。するととても誇らしく、改めて、世界の舞台上で活躍する先輩がいる名誉を感じました。残念ながら加藤選手は負けてしまいましたが、きっと星城生の誇りであり続けると思いました。

悲願の金メダル



女子ソフトボール 馬淵 智子 選手

星城中学校 2年 A組 谷澤和真

レスリングのグレコローマンという種目に加藤賢三先輩が出場されるので、張り切って応援しました。結果は負けてしまいましたが、オリンピックという舞台に立っているだけですごいなと思いました。次の日ソフトボールを観戦しました。アメリカはとても強かったです。絶好調の馬淵選手ですら HR もありませんでした。負けてしまいましたが、昨日の加藤選手のような数分で勝敗が決まる競技とは違って、ソフトボールは試合時間も長し、一度ぐらい負けても本戦があるので長くできていいなと思いました。午後は「鳥の巣」競技場にもいきました。建物を外から見上げて、会場の中に入って上からトラックを見下げて、ほんとに大きく感動的でした。



専門学校 星城大学リハビリテーション学院開校 5 周年記念講演会



【星城高等学校柔道部に、ご指導される古賀氏】

9月27日(土)名古屋ルーセントタワーにて、柔道家の古賀稔彦氏をお招きし、専門学校星城大学リハビリテーション学院 5周年記念講演会「夢への挑戦。ケガを乗り越えて・・・！」が開催されました。講演会の始めに古賀氏の活躍をまとめた映像を鑑賞。映像では金メダルを獲得したバルセロナ五輪の際、現地での調整中に大怪我に見舞われたシーンやその後の試合状況など、私たちが知らなかった舞台裏が映し出されており、改めて古賀さんの精神力の強さや五輪でメダルを獲ることの偉大さを思い知りました。講演では、その時のエピソードも交え、夢を持つ大切さや、その夢に向

かって挑戦することが与えてくれるパワーの大きさのお話など、世界で活躍された方ならではの内容に参加された皆さんも熱心に聞き入っていました。

介護予防教室「元気いっぱい貯筋教室」



【大好評によりシリーズ化した教室】

受講者の口ぐちからは、お互いの健康を気遣い、次回の教室での再会を約束していた。

昨年に引き続き、大変好評を博した介護予防教室「元気いっぱい貯筋教室」が、今年も豊明市南部公民館において9月4日より始った。当日の受講者は、市内男女高齢者43名、開館前にも関わらず、熱心な多くの方がつめかけた。最初に星城大学リハビリテーション学院の島田容伸先生から「頑張りすぎないこと」、「競わないこと」、「我慢しないこと」などストレッチより始まり、日常行わない動作に戸惑いを感じていた受講者もしいに島田先生の優しく、丁寧な指導に引き込まれ、気がついた時は、全身の筋肉が解れ、どの顔にも爽やかな笑顔が見られた。教室終了後は

